

<アメリカの大学生が、人間福祉学科を見学しました！！>



アメリカ・イリノイ州から、大学生が見学にきました。専門は、数学・統計とフランス文学を専攻しています。日本の大学とちがって、アメリカの大学は、同時に2つの学部を勉強できるシステムがあります。これを、ダブルメジャーといいます。人間福祉学科の教員の自宅で、ホームステイをしています。日本社会の超高齢者問題や、長寿大国日本にも興味があり、様々なデータを見て得意の数学から、何かを導き出せるかもしれません。

**アメリカ・イリノイからきました、Caroline Elizabeth Walters
キャロライン・(エリザベス)・ウォルターズです。
大妻女子大学多摩キャンパスにお邪魔しました。**



アメリカの大学生は、様々な説明書きをじっくりと読みます。観光地でも街中でもそうです。英語表記は、必須だと感じました。



ここは、カフェテリアです。テラスもあって、とてもきれいです！



図書館です。



TEP(TAMA English program)の教室をのぞいてみました。ガラス張りのおしゃれな空間です。



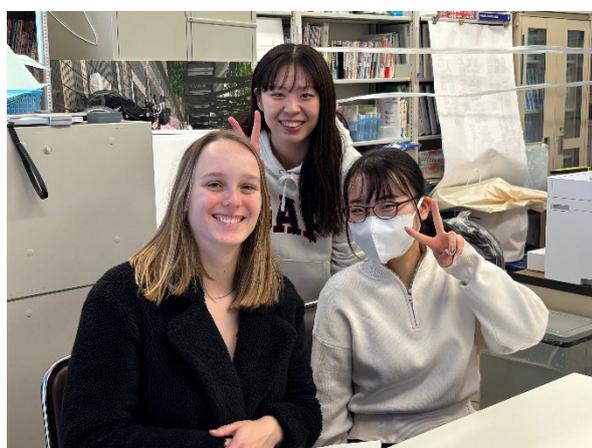
多摩キャンパス 1号館です。人間関係学部のある棟です。



福祉の施設を見学しました。在宅でのケア、入浴室、ベッドのある施設、車いすなど、充実した施設です。ソーシャルワークの必要性を感じました。アメリカに戻って報告したいと思います。



人間福祉学科の学生と交流しました。福祉学科の学生も、積極的に英語で話しています。キャロラインも、理解をしようと頑張って聞いてくれました！なんでも、トライしてみることは大事ですね。



授業時間外でしたので、福祉の学生はあまりいなかったのが残念でしたが、色々な国の人々が多摩キャンパスに訪れて、福祉を学ぼうとしてくれるのは、学生はもとより人間福祉学科の教員も大変勉強になりました！！

冒頭にも書きましたが、踏み入れたその土地の看板に、興味をもってほとんどすべてを読み込みます。これは、多少の差はあれど、日本の大学生も見習うべき行動だと思います。このあと、キャロラインはアメリカに帰国しましたが、オンライン等で今もつながっています。Instagramでは、英語バージョンもみられます。是非、ご視聴してくださいねー。